

学校教育審議会答申

平成27年度教育委員会の諮問事項「尾札部中学校・臼尻中学校の統合について」に対し、次のとおり答申する。

記

尾札部中学校と臼尻中学校の統合については、平成27年7月に尾札部、臼尻両中学校PTAをはじめ、磨光小学校、臼尻小学校、大船小学校PTA連名の統合に向けた要望書の提出がなされたところである。

審議会としては、今後、さらなる生徒数の減少が予測される中で、学校全体あるいは学級ごとの生徒数が少なくなった場合における教育的な課題を踏まえると、適正規模の確保は困難であっても、統合によりある程度の生徒数を維持することは、教育環境として重要であると考えます。

また、統合を望む保護者や地域住民の意向も重視し、両校の統合は必要であるとの結論に至った。

なお、統合校の位置については、両校の施設環境、地理的条件、保護者や地域住民の意向を勘案すると、既存校舎のどちらか一方を使用することは困難と思われる。審議会としては、両校の中間点付近が望ましいと考える。

(付帯事項)

統合の実施にあたっては、次のことに留意すること。

- 1 統合の時期については、保護者や地域住民から早期の実施について要望があることから、その実現に向けて努力すること
- 2 通学路の安全確保に努めるとともに、遠距離通学となる生徒に対する通学支援を実施すること
- 3 統合が実現するまでの間、両校の交流活動等を通じ、生徒や保護者の不安を解消するよう努めること
- 4 統合校の施設は、快適・安全かつ多様な学習展開を可能とする教育環境となるよう努めること